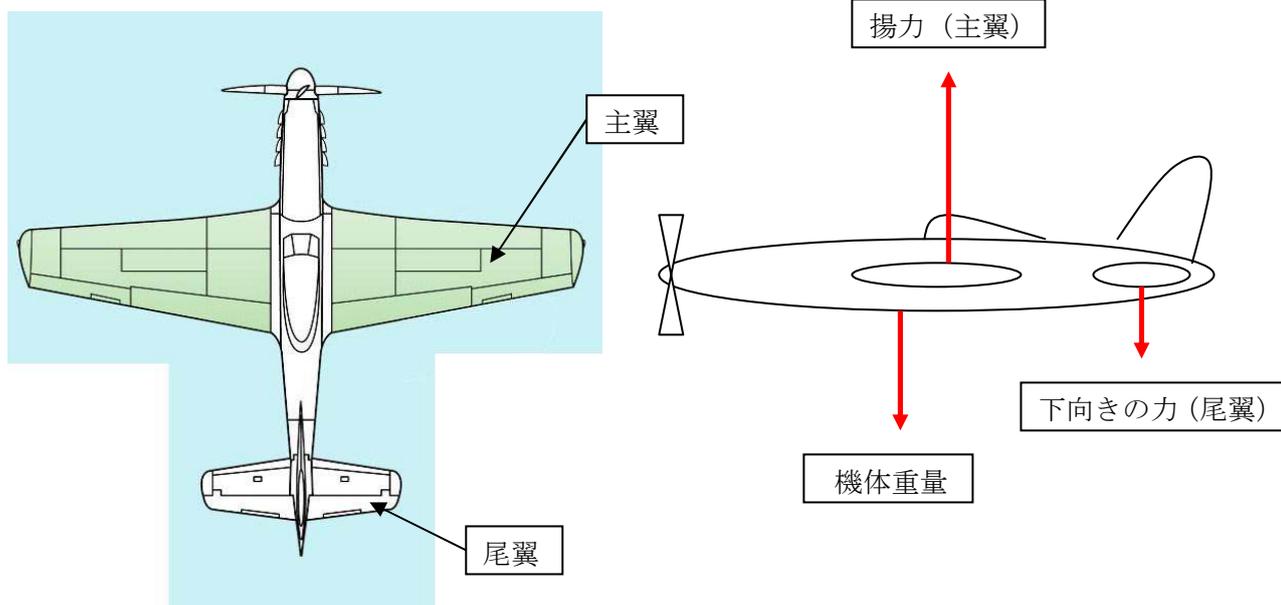


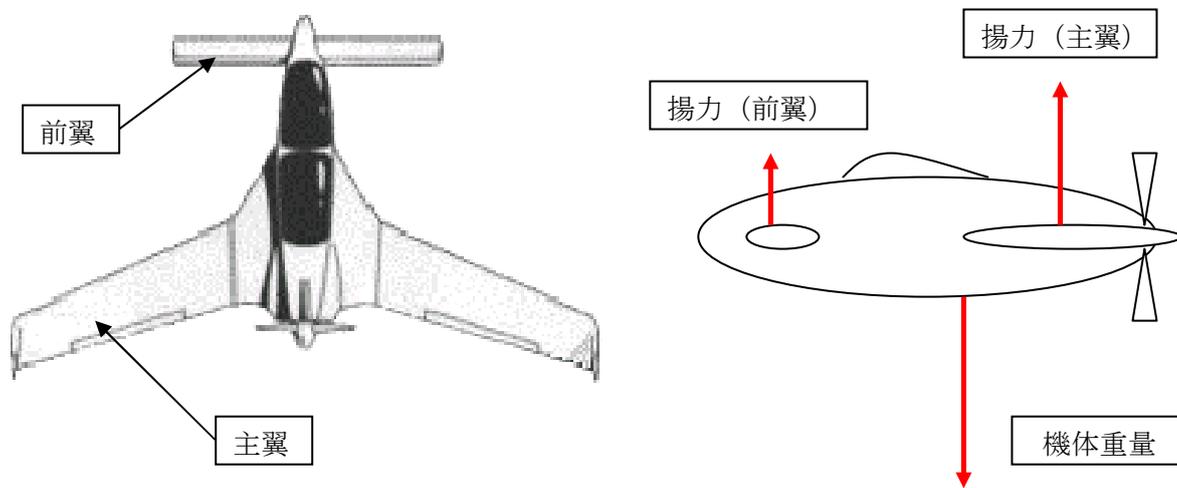
飛行機の翼について

今回は、飛行機の翼についての話をします。
一般的な飛行機の翼は下の図のような形になっています。



このタイプの翼では、前側の翼（主翼）が、飛行機を浮かせる力（揚力）を出すのですが、後ろ側の翼（水平尾翼）は図の通り、下に引っ張る力を発生させています。飛行機のバランスをとるために、必要なことなのですが、飛行機を浮かせる力（揚力）を発生させない翼があるというのは、せっかく翼をつけているのに少しもったいないような気がします。

では、下記のような形にしたらどうでしょうか。



この形なら、前後の翼両方が、飛行機を浮かせる力（揚力）を発生させるため、前記の飛行機より浮き上がる力をたくさん使えて、効率良く浮くことができます。

このタイプの飛行機を一般的に、「**カナード機**」と呼びます。

ここまでの話を読むと、「では、世の中に存在する飛行機すべてを「カナード機」にかえればいいじゃないか」と思う人も出てくるのではないのでしょうか？

しかし、実際は、空力的な安定性や他の性能等の問題で、一部の航空機（戦闘機や軽飛行機）にしか採用されていません。

「カナード機」を採用すれば、効率よく飛行機を飛ばすことができ、燃費向上にもつながるため良いのですが、なかなか、難しいものです。